

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 1】

<エントリーシート>	研修成果活用	
※事務局記入欄	平成 28 年度カリキュラム・マネジメント指導者養成研修	新潟県立教育センター 副参事 山崎 孝幸
No. : A - 13	活動名	
	カリマネ推進の取組	
	新潟プラン 28 による学校改善	

課題の設定： ※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか？視点などを含めて記載してください。

県内各校の教育活動の質の向上を図るために、教育課程を中心に組織的かつ計画的に実施するためのカリキュラム・マネジメントの在り方を明らかにする。

方針・計画： ※課題を解決するために仮説を立てて、活動内容を組み立てたのか、記載してください。

1. 先行事例や文献によりカリキュラム・マネジメントの推進の視点を策定する。
2. 協力校における実践により検証を行う。
3. 年度末に実践の成果を公表するとともに次年度に向けた改善を図る。

活動内容： ※方針・計画に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください

- チームメンバーでカリキュラム・マネジメントを推進するための視点を検討する。
- 実践に向けたカリキュラム・マネジメント新潟スタイル『CMN28』の提案資料を作成する。(図 1)
- 協力校における実践を支援し、その成果を分析する。※GPS-Academic 検査(ベネッセ)の活用
- 実践の成果と課題を基に評価を行い、改善を図る。

活動の成果： ※課題や目標に対し、どんな影響、変化あったか、職員や参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

○ 実践協力校の取組から、次のことが分かった。管理職及び研究主任などのリーダーシップの発揮が職員の協働性や円滑な教育活動の推進につながる。
 ・教科横断的なつながり、校内外の多様な人とのつながりを意識して単元を構成することにより、教科横断的な見方・考え方を活用した深い学びの実現につながる。(図 2)
 ・研究主題や学校課題に向けた明確な目標設定が全職員の共通理解を図り、円滑に活動を推進する。(図 3)
 ・全職員によるワークショップ型研修を用いて、職員一人一人の考えを大切にしながら、具体的な方策をモデル化(視覚化)することが日々の活用につながる。
 ・校内外の評価の機会を複数回もつことで、小さな P D C A (CAP-Do) サイクルを繰り返す工夫が大切である。

○ 客観的なデータを活用しながら、学校と生徒の実態を正確に把握し、目指す学校像を描くことができた。それを受け、「キャリアガイダンス」「よい学(地域学習)」という 2 つのカリキュラム開発を実現できた。(図 4)

アピールポイント(アイディアや工夫)： ※3～5 つ程度の箇条書きしてください

- ① 学校運営の推進に向けた指標としての CMN28 の提案
実践協力校の相互の取組を比較する視点として有効であった。
- ② CMN 分類表による学校運営の可視化
年度始め実態把握(Check・Action)や計画(Plan)段階から実施に向けた視点を明らかにできた。
- ③ CMN 分類表のデータ蓄積
3 校のデータを分類表に加え、理論の強化を図ることができた。次年度はチェックリストを策定する。

図 1 カリキュラ・マネジメント新潟スタイル(CMN28)



図 2 小学校の取組(生活科・総合的な学習の時間を中核にした取組：研究主任のリーダーシップ)



図 3 中学校の取組(職員の参画意識・協働性の向上：校長のビジョンとリーダーシップ)

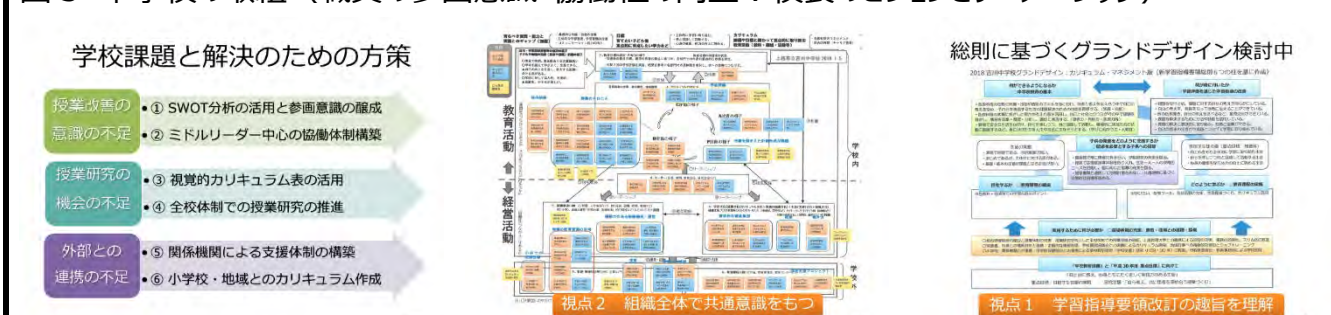


図 4 高等学校の取組(言語活動と探究的な学習の推進：教務主任のリーダーシップ)

